

# 教 科 国語

# 科 目 論理国語

授業科目	論理国語	単位数	2単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	高校2年	コース	全コース		
教科書	論理国語（大修館）	副教材	学習課題ノート（大修館）、ゴイカン		
授業概要	主体的・対話的で深い学びをとおして、実社会に必要な国語の知識や技能を身につけ、論理的、批判的、創造的に考える力を伸ばし、言葉で伝え合う力を高めることができる。				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標	教 材	
	1 学 期	世界・言語・私	これからの時代における「書く」「読む」力について、自分の考えをもつ。	・世界を広げる「批評」の言葉	
		芸術と文化	比喩的な表現に注意し、論の展開をとらえる。筆者の主張をふまえて、美しさについて理解を深める。	・ミロのヴィーナス	
		共同体のいま	統計資料や事例と筆者の主張との関係を捉える。社会構造の変化が、思考・感情に影響を与えることについて考えを深める。	・家族化するペット ・コミュニティから見た日本	
	2 学 期	科学の可能性	小見出しごとのまとまりに着目して、論の展開を押さえ、筆者の主張をとらえる。	・人工知能と可能性と畏	
		日本語の多様性	敬語についての筆者の主張と論理の展開を的確につかむ。敬語や若者言葉など、言葉と社会の関心に興味をもち、考えを深める。筆者の方言に対する視点や分析のしかたを的確にとらえる。方言と社会の変容との関係に興味をもち、探究する。	・敬語への自覚、他社への自覚	
		思考の枠組み	実験結果などの具体例の本文中での役割を理解し、主張を読み取る。記憶や学習におけるスキーマの働きを理解し、ものの見方を広げる。エピソードや具体例の役割に注意し、本文と図版を関係づけながら読む。	・スキーマと記憶	
	3 学 期	社会の原点	論の展開のしかたや、具体的なエピソードの意図を理解する。言語・法・貨幣がどのような存在かを読み取り、社会に対する認識を深める。学説を引きながら論述する文章を読み、主張をとらえる。食習慣を切り口にして人類社会の成り立ちについて考える。	・分かち合う社会 ・社会的実在としての言語・法・貨幣	
		グローバル化の先へ	文章全体の構成を意識して、筆者の主張をとらえる。文明と海や人との関係を知り、普遍的な文明について理解を深める。小見出しごとに文章の要旨をとらえ、筆者の主張をつかむ。グローバル時代における文化の多様性の価値を考える。	・心に「海」を持つて	

# 教科 国語

# 科目 文学国語

授業科目	文学国語	単位数	2単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	高校2年 ICT科	コース	全コース		
教科書	新編文学国語（大修館）	副教材	文学国語学習課題ノート（大修館）		
授業概要	国語や言語文化に対する関心を深め、伝統文化への理解を図る。様々な文章を読み、読む能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで表現し、伝えあう姿勢を育てる。また、読書することによって人生を豊かにする。				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標	教 材	
	1 学 期	随想	筆者が体験したことや考えたことを読み取り、自然への興味を広げる。	少なくとも最後まで歩かなかつたそとみとなかみ	
		評論	筆者の主張を読み取り、社会への関心を広げる。論理的な構成に注意して、小論文を書く際の参考に する。	一言で心をつかもう	
		小説	人物像、情景、心情などの描写に注目し、その特色を的確にとらえる。作品の背景や時代状況にも注目して、小説を読み味わう。	ナイン 星取り	
	2 学 期	小説	登場人物の生き方から自分自身の生き方に関する 考えを深める。 ・ 漢文訓読調の文章の魅力を楽しむ。	山月記	
		古典	古文の読み方に慣れ親しむ。動詞の文法や古語への 理解を深める。	かぐや姫の昇天 月やあらぬ	
		小説	登場人物の描写から人物像をとらえ、場面ごとの心 情を読み取る。 ・ 仕事や自然に対する描写を読み取り、ものの見方、感じ方を豊かにする。	神去なあなあ日常 その日東京駅五時 二十五分発 さくら日和	
		漢字検定	漢字検定で目標に模擬問題に取り組む。	漢字検定	
	3 学 期	小説	人物像、情景、心情などの描写に注目し、その特色を的確にとらえる。作品の背景や時代状況にも注目して、小説を読み味わう。	飛ぶことを知って いる魂 クルミの小 部屋	
		古典	登場人物の設定や描写の仕方をとらえ読み深める。	源氏物語 若紫	

# 令和 8 年度                      教科 社会科                      科目 公共

授業科目	公共	単位数	2 単位	履修形態	必修
履修学年	高校 2 年 ICT 科、高校 1 年普通科				
教科書	帝国書院 公共	副教材	帝国書院 公共ノート		
授業概要	一年間を通じて、現在、世界・日本の中で起こっている様々な課題を理解し、持続化 能な社会のために自分には何が出来るのかを考察させる。				
授業内容 および 到達目標	単元	目標			教材
1 学 期	第 1 部 1 章	青年期における自己と社会のあり方の理解に基づき、社会に参画する自立した主体としてのあり方・生き方について自分の意見を表現することを通じて社会形成とそれに結び付く、みずからのキャリア形成ついて理解させる。			教科書 副教材
	第 1 部 2 章	私たちが生きる社会を形成する伝統や文化、宗教、古来の日本人の考え方などへの理解に基づき、私たちはお互いの立場を理解し合う社会的な存在であることについて自分の意見を表現することを通じてみずからの価値観や他者の価値観、それらを形成する背景や要因ついて理解させる。			教科書 副教材
	第 1 部 3 章	公共的な空間における基本原理としての日本国憲法の考え方の理解に基づき、個人と社会の関係等について自分の意見を表現することを通じて、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定等の大切さ、公共的な空間に生じる課題を探究することの大切さ等について理解させる。			教科書 副教材
2 学 期					

	2 学 期	第2部 1章	法の基本的な考え方に関する正確な理解に基づき、身近な主題についてさまざまな考え方を踏まえて判断し、みずからの意見や主張を表現することを通じて、法の意義や司法参加について関心を高めさせる。	教科書 副教材
	2 学 期	第2部 2章	さまざまな意見や利害を調整するという政治の意義や統治機構のしくみの正確な理解に基づき、よりよい社会を構成するための取り組みについて、自分の意見を表現することを通じて、政治参加と公正な世論の形成、地方自治等について理解させる。	教科書 副教材
	2 学 期	第2部 3章 1節	希少な資源を効率的に配分する市場メカニズムに対する正確な理解に基づき、公正かつ自由な経済活動が行われる社会を構成するための取り組みについて自分の意見を表現することを通じて、市場経済の機能と限界、金融の動き、財政および租税の役割について理解させる。	教科書 副教材
	3 学 期	第2部 3章 2節	変化する産業構造と労働のあり方、社会保障の意義と課題に対する正確な理解に基づき、国民福祉の向上に向けた取り組みについて自分の意見を表現することを通じて、職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の役割といった諸問題について理解させる。	教科書 副教材
	3 学 期	第2部 3章 3節	グローバル化の進展により経済活動が世界的な規模で行われていることに対する正確な理解に基づき、貧困や格差のないよりよい国際社会の形成に向けた取り組みについて自分の意見を表現することを通じて、経済のグローバル化と相互依存の深まり、国際社会における貧困や格差の問題などについて理解させる。	教科書 副教材

## 教科…数学、科目…数学 A

授業科目	数学 A		単位数	2 単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	2 年 ICT 科		コース	会計マスターコース、ビジネス進学コース、映像クリエイターコース		
教科書	数学 A Standard			副教材	WRITE I +A (数研出版)	
授業概要	<p>数学 A では、①場合の数・確率、②図形の性質で小・中学校数学で扱った内容を発展させたものを、そして、③数学と人間の活動で数学の歴史や日常生活でどのように扱われているかを学びます。高等学校数学における基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学的な見方や考え方といった数学的素養を身に着けるようにします。</p>					
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標			教 材
	1 学期	場合の数  確率	<p>① 集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則などの数え上げの原則について理解する。</p> <p>② 具体的な事象をもとに順列及び組合せの意味を理解し、それらの総数を求められるようになる。</p> <p>③ 確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率を求められるようになる。</p> <p>④ 確率の応用的な思考として、反復試行の確率や条件付き確率、期待値を求めることができる。</p>			WRITE I +A
	2 学期	図形の性質	<p>① 三角形に関する基本的な性質について理解する。</p> <p>② 円に関する基本的な性質について理解する。</p> <p>③ 空間図形に関する基本的な性質について理解する。</p>			
	三学期	図形の性質  数学と人間の活動	<p>① 作図ができるようになる。</p> <p>② 記数法を学ぶ。10 進法でない数を 10 進法に直したり、逆もすることができる。</p> <p>③ ユークリッドの互除法を使い、1 次不定方程式を解くことができる。</p> <p>④ パズルを数学的に解くことができる。</p>			

# 教 科 保健体育

# 科 目 保健

授業科目	保健	単位数	1 単位	履修形態	○必修 ・ 選択
履修学年	高校 2 年	コース	全学年		
教科書	最新高等保健体育（大修館書店）		副教材	最新高等保健体育ノート（大修館書店）	
授業概要	<p>私達の身体と心は年齢と共に変化している。健康の為に私たちや社会のなすべき事も同様に变化する。ここでは、思春期から中高年期までの健康に関わる事や、各年齢層で必要な保健・医療サービスの活用などを学習させる。又、健康で生きていく上で私達を取り巻く自然環境、また社会制度や活動などが深く関わっており、個人の努力が組み合わさって健康が実現する。健康に関する環境・食品の問題や働く事と健康との関連について、学習させたい。</p>				
内容		単 元	目 標	教 材	
および 到達目標	1 学 期	生涯を通じる健康	思春期の身体と心の健康を理解させる。	生涯の各段階 における健康 P C 使用	
			性意識の男女差・性的欲求・性行動について知る。		
			心身の発達と健康な結婚生活を理解させる。		
	2 学 期		受精・妊娠・出産について知る。	性についての 話し合い 保健・医療制 度及び地域の 保健・医療機 関	
			家族計画と避妊法について理解させる。		
			加齢と健康について知る。		
			高齢者の保健・医療・福祉について理解させる。 (医療制度を含む)		
	3 学 期	社会生活と健康	食品と環境の保健について	環境と健康 P C 使用	
			大気汚染・水質汚濁・土壌汚染と健康被害について		
			公害について調査		
			健康被害の防止と環境対策を知る。	労働と健康	
			労働災害・職業病について		

# 教科 保健体育

# 科目 体育

授業科目	体育	単位数	2単位	履修形態	○必修 ・ 選択
履修学年	高校2年	コース	ICT科		
教科書	なし	副教材	アクティブスポーツ 大修館書店		
授業概要	運動を通して知識を深めるとともに技能を高め、体力の向上を図り、生涯スポーツの実現を目指す。				
授業内容 および 到達目標	単 元	目 標			教 材
	1 学 期	体育理論	スポーツの文化的特性について理解できるようにする。		
		体ほぐし運動	運動を通して、自己の体に関心を持ち、自分や仲間 の状態に気づくことができるようにする。		
		新体力テスト	持久走を含む8種目 Aランクを目標		
		水泳	自由形・平泳ぎ・背泳ぎの3泳法の個々の能力の 向上を図る。		
		バスケットボール	ドリブル、パス、シュートにおける個々の能力の 向上を図る。		
	2 学 期	ダンス	創作を通じて仲間との交流を図り、楽しさをより 強く表現できるようにする。		
		器械運動	柔軟性を高めていくことを目指す。ほん転系の技 を正しい姿勢でできるようにする。		
		体育理論	スポーツの文化的特性について理解できるように する。		
		新体力テスト	持久走を含む8種目 Aランクを目標		
	3 学 期	サッカー	パス、ドリブル、シュートの技術の向上を図り、 安全な試合展開ができるようにする。		
		武道	基本的な技術を身につけ、試合での勝敗を競い合 う楽しさや喜びを味わう。		

教科 音楽

授業科目	音楽	履修学年	高校2年	
教科書	高校音楽1 教育芸術社			
授業概要	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに音楽表現に必要な技能を身に付ける。			
授業内容 および 到達目標	単元	目標	教材	
	1 学 期	曲想と音楽の構造との関わりを理解して合唱しよう。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容を理解し、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。	校歌
		音楽の共通言語を覚えよう。	音楽を体系的に理解し、音楽表現の方法を学ぶ。	音楽通論
	2 学 期	ギターの音色や響きを知り、演奏してみよう。	ギターの奏法を理解し、それを生かした曲にふさわしい器楽表現を身に付ける。	ギター
		和楽器の音色や響きを知り、演奏してみよう。	篠笛の奏法を理解し、それを生かした曲にふさわしい器楽表現を身に付ける。	篠笛
	3 学 期	音色や音の重なり方の特徴を理解しアンサンブルを楽しもう。	曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。全体の響きや各部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する。	アンサンブル

## 教科 美術

授業科目	美術		単位数	1単位	履修形態	必修・選択○
履修学年	高校2年		コース	ICT科 普通科		
教科書	光村図書 美術1			副教材		
授業概要	高校2年生では、美術の基礎となる観察力や画力を高める作品作りをしていきます。					
授業内容 および 到達目標	前期	単元	目 標		教 材	
		①美術概論	①1年間の美術の流れを知る。			
		②名画模写 (絵画 素描)	①名画を知り、色作りを学ぶ。 ②色や筆使いをよく見て観察力を高める。 ③お手本を観察し、写実的な力をつける。		名画資料 アクリル絵の具 メディウム	
		③ドライポイント (版画 鑑賞) ゆい年賀状コンクール	①2025年巳年のデザインをする。 ②凹版の良さを理解し、動きのある。 ③線の重なりや強弱で立体感を追究する。		PP版 ニードル 油性インク	
	④制服デザイン (デザイン) トンボ1129コンクール	①自らのアイデアを出すことができる。 ②機能的、独創的なデザインを書く。 ③色を付けてコンクールに出す。		1129コンクールの用紙 絵の具、色鉛筆 コピックなど		
	後期	⑤人物動物デッサン (素描)	①人物と動物の骨格の違いを理解する		スケッチブック 鉛筆	
		⑥アートグラス (デザイン 構成 鑑賞)	①動物や植物の構造を学ぶ。 ②お手本を観察し、写実的な力をつける。 ③繊細な描写力をつける。		資料画像 アートグラス ニードル	

# 教科芸術

# 科目書道 I

授業科目	芸選 書道	単位数	1 単位	履修形態	必修 ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">選択</span>
履修学年	高2年	科	ICT科・普通科		
教科書	書道1 大修館		副教材		
授業概要	書道の諸活動を通して書写能力を高め、表現と鑑賞の基礎的な能力と態度を育てるとともに書を愛好する心情を養う。				
授業内容 および 到達目標	単元	目標	教材		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 書之美を求めて</li> <li>・ 書の学び方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 書の特質や学習の全体像を学習する</li> <li>・ 表現と鑑賞の相互関連など、書の学び方について理解する</li> <li>・ ご書体の歴史の変遷について理解する</li> </ul>	資料〔書道史年表〕 教科書		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 刻字の学習</li> <li>・ 書と刻字</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 印の歴史と篆書の理解</li> <li>・ 篆刻の手順の理解（姓名印の製作）</li> <li>・ 落款の理解</li> </ul>	教科書 篆刻刻字ブック P60－65		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 漢字（楷書）</li> <li>・ 臨書</li> <li>・ 創作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多様な楷書表現を理解する</li> <li>・ 古典を生かした表現の工夫</li> </ul> <p>A（孔子廟堂碑）（九成宮禮泉銘）（雁塔聖教序） （顔氏家廟碑）</p> <p>B（牛厥造像記）（鄭義下碑）</p> <p>C（隅寺心經）</p>	教科書 P14－35		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 漢字（行書）</li> <li>・ 臨書</li> <li>・ 創作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行書の特徴</li> <li>・ 運筆のリズムと気脈の貫通</li> </ul> <p>A（蘭亭序）</p> <p>B（争坐位文稿）</p> <p>C（風信帖）</p>	教科書 P84－91		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仮名</li> <li>・ 漢字仮名交じりの書</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仮名の歴史</li> <li>・ 基本用筆（運筆・連綿）</li> <li>・ 表現の工夫</li> <li>・ 一年間のまとめとして作品一枚（新春書作展）発表する</li> </ul>	教科書 P108～112			

# All Aboard! English Communication II シラバス

担当：本田勝也、南條帆乃香

「英語コミュニケーションⅡ」	単位数	2単位	学科	ICT科	学年・学級	第2学年 A組～G組
----------------	-----	-----	----	------	-------	------------

## 1. 学習の到達目標

学習の到達目標	<p>日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。</li><li>2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。</li><li>3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。</li><li>4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。</li><li>5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。</li></ol>
使用教科書, 副教材など	<p>「All Aboard! English Communication II」(C II 701)</p> <p>「All Aboard! English Communication II ワークブック」(東京書籍)</p>

論理・表現Ⅰ	単位数	2単位	学科	ICT科	学年・学級	2年 A組～G組
--------	-----	-----	----	------	-------	----------

1. 学習の到達目標

<p>■ 学習の到達目標</p>	<p>日常的・社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、適切な支援を活用すれば、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを口頭で相手に伝えたり、やり取りを通して相手から必要な情報を得たりすることができる。</li> <li>2. デイバートやディスカッションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫しながら口頭で伝え合うことができる。</li> <li>3. スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫しながら口頭で伝え合うことができる。</li> <li>4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫しながら文章化して伝えることができる。</li> <li>5. 基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫しながら文章化して伝えることができる。</li> </ol>
<p>■ 使用教科書 ・副教材等</p>	<p>教科書『Revised Amity English Logic and ExpressionⅠ』（開隆堂出版） 副教材『Revised Amity English Logic and ExpressionⅠワークブック』（開隆堂出版）</p>

# 教科 家庭 科目 家庭基礎

授業科目	家庭基礎	単位数	2 単位	履修形態	必修・選択	
履修学年	2 年 ICT科・普通科	コース				
教科書	Creative living『家庭基礎』で生活をつくろう改訂版（大修館）	副教材				
授業概要	男女が総合に協力し、家族の一員としての役割を果たし、家庭を築くことの重要性について認識させる。また自分らしさを見つけ実習を取り入れながら、実生活の中で生かせる知識や技術を身につける。自分の暮らしが常に地球全体でつながっているという意識をもって、一人ひとりが自分のどうすればよいか、SDGSについて考える。					
授業内容	単 元	目 標		教 材		
および 到達目標	1 学 期	「経済生活のマネージメント」	・将来どのような生活を送りたいかをイメージし、実現するための手段について考える。 成人年齢が18歳になったことで、消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう契約の重要性について理解する。消費者保護の仕組みについて理解する。		教科書 プリント DVD 「18歳までに学ぶ契約の知恵」	
		「青年期の課題と自立」	・自分らしさ、生き方について考え、ジェンダーに関する知識を身につけ男女平等意識を高める。		DVD 「生命誕生」 「生命誕生2」	
		「家族・家庭生活のマネージメント」	・家族・家庭の機能について理解し、将来の自分の結婚や家庭を想像する。		調理実習	
		「子どもの生活と子育てのマネージメント」	・命の尊さにふれることで、乳幼児に関心・興味を持たせる。幼児の遊び、食物、及び被服に関する学習を通して、その心身の発達に応じた生活について理解させ、幼児に対する関心を高める。子どものおやつ作りを通して、3食の食事ではとりきれない栄養を補う大切な役割があることを理解する。子育てや育児に関するサポート施設や支援を知る。		子どものおやつ	

2 学 期	<p>「高齢期の生活のマネージメント」</p> <p>「衣生活のマネージメント」</p> <p>「住生活のマネージメント」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の心身の変化と特徴を知り、健康状態に伴う暮らし方の変化を理解する。</li> <li>高齢者福祉や子育てに関する社会支援について理解する。</li> <li>・被服の基礎的な知識を理解する。</li> <li>被服材料について科学的に理解する。</li> <li>着装に関心を持ち、自分の個性を見つめ、自分らしい着装とTPOについて考える。</li> <li>被服実習「ポーチ作り」</li> <li>基礎縫いの習得（並縫い、まつり縫い、本返し縫い、ボタン付け）</li> <li>基礎縫いテスト</li> <li>住まいの役割を理解させる。日本の自然災害や盗難などの被害を防止する工夫を考える。</li> </ul>	<p>教科書</p> <p>プリント</p> <p>被服実習</p> <p>「ポーチ作り」</p>
3 学 期	<p>「食生活のマネージメント」</p> <p>まとめ</p>	<p>各栄養素の特徴と働きを理解する。また、食品添加物の働き、人体への害・危険性を理解し、健康で安全な食生活を営むことができるようにする。</p> <p>現代の食に関する問題点を知り、食に関してさまざまな角度から考えられるようにする。</p> <p>調理実習を行い、調理技術を身につける。</p> <p>SDGsについて考える。日常の生活行動を未来の社会設計につなげる。</p>	<p>教科書</p> <p>プリント</p> <p>調理実習</p>

# 教 科 商 業 科 目 財 務 会 計 I

授業科目	財務会計 I		単位数	4 単位	履修形態	必修・選択
履修学年	2 年		コース	ビジネス進学コース		
教科書	商業簿記 2 級テキスト商業 (立志舎)		副教材	過去問題集		
授業概要	<p>企業会計の役割や制度及び財務諸表の作成に関する知識と技術を勉強します。財務諸表の意味や役割を理解するとともに、財務諸表から得られる情報を活用する能力を身に付けます。会計理論と貸借対照表・損益計算書・株主資本等変動計算書の作成が中心です。</p>					
授業内容および到達目標		単 元	目 標		教 材	
	1 学期	企業会計原則	一般原則・損益計算書原則・貸借対照表原則の知識を身につける。		テキスト	
		会計諸則	退職給付に係る会計基準・研究開発費等に係る会計基準・税効果会計に係る会計基準・金融商品に係る会計基準・外貨建取引等会計処理基準・リース会計に係る会計基準・財務諸表規則の理解を深める。		テキスト 問題集	
		個別計算	現金預金・金銭債権・棚卸資産・固定資産・償却原価法・自己株式・貸倒見積額・減価償却の基礎的な計算を習得する。		テキスト 問題集	
	2 学期	財務諸表	貸借対照表・損益計算書・株主資本等変動計算書の作成ができるようにする。		問題集	
		連結財務諸表	連結財務諸表の目的と範囲・連結財務諸表作成の基礎的な知識と技術を身につける。		テキスト 問題集	
	3 学期	財務諸表	貸借対照表・損益計算書・株主資本等変動計算書の作成ができるようにする。		問題集	
		財務諸表の活用	財務諸表分析の意義・財務諸表の見方の基礎を身につける。		テキスト 問題集	

# 教 科 商 業 科 目 管 理 会 計

授業科目	管理会計	単位数	4 単位	履修形態	○ 必修 ・ 選択
履修学年	2 年	コース	ビジネス進学コース		
教科書	日商簿記 2 級テキスト工業簿記 (立志舎)	副教材	過去問題集		
授業概要	<p>原価計算の知識を基礎に、CVP分析や業務意思決定・設備投資の意思決定などの方法を学びます。また、原価管理や予定財務諸表の作成など、高度な原価計算の研究をします。資格取得目標は、日商簿記検定 2 級です。</p>				
授業内容および到達目標		単 元	目 標	教 材	
	1 学期	工業簿記の基礎 各費目別計算	工業簿記と商業簿記との違いがわかるか。各費目を理解し、費目別に計算できるようになる。	テキスト 問題	
		予定価格法	それぞれの原価計算に応じた作表ができるか。	テキスト 問題	
	2 学期	原価計算の目的 個別原価計算	仕損や減損を理解しているか 組別・工程別総合原価計算等の違いがわかるか。		
		総合原価計算	非度外視法・減損の平均的安定的発生や追加配賦・について学習する。	テキスト 問題	
	3 学期	標準原価計算 個別原価計算 部門別原価計	標準原価・差異分析・個別原価・製造間接費の部門別原価計算など基礎的な計算方法を習得させる。		
		直接原価計算 全部原価計算 CVP分析答練 問題 過去問題	直接原価計算と全部原価計算の違い・固定費調整・短期利益計画などの基礎的な計算方法を習得させる。  さまざまな問題を解き、苦手問題の認識・克服や問題を解くスピード力をつける。  簿記検定等資格取得を目指す。	テキスト 問題	

# 教 科 商 業 科 目      ビジネス情報

授業科目	ビジネス情報	単位数	3単位	履修形態	(必修) ・ 選択
履修学年	2年	コース	ビジネス進学コース		
教科書	なし		副教材	各種検定の問題集など	
授業概要	情報通信ネットワークの導入やソフトウェアの活用に関する知識と技術を習得させ、情報を効果的に処理することの重要性について理解させるとともに、ビジネスの諸活動においてコンピュータを適切に運用する能力と態度を育てる。				
授業内容および到達目標		単 元	目 標	教 材	
	1 学 期	オフィス業務と情報通信ネットワーク	オフィスのエンドユーザとして、情報通信ネットワークを業務で効果的に活用するための基礎的な知識・技術の習得を行う。	問題集	
		表計算ソフトウェアの活用	表計算ソフトを活用して金融や債券などのビジネス計算を理解させる。線形計画法、在庫管理、待ち行列など OR について基礎的な理解をさせると共に、表計算ソフトを用いて各種シミュレーションを行う。	問題集	
	2 学 期	データベースソフトウェアの活用	ビジネス情報のデータベースについて、基礎的な知識・技術を習得させ、更に、使いやすいユーザインタフェースなどデータベースの設計、データベースソフトのプログラム言語による手続の自動化を理解させる。	問題集	
		3 学 期	ソフトウェアを活用した検定試験対策	さまざまな問題を解き、苦手問題の認識・克服や問題を解くスピード力をつける。  日検表計算・文書デザイン・プログラミング検定等資格取得を目指す。	問題集